



マイアミで学んだことを生かして



先週の朝の全校朝礼。ずらっと並んだ13名の子どもたち。先週をもって本校を転出し、日本への帰国やアメリカの各地へ行く子どもたちでした。私が、次から次へと名前を読み上げるたびに小さなよめきが広がりました。余りの多さにびっくりしたのでしょうか。本校在籍の生徒数の1割が転出したこととなります。

13名のどの子どももマイクを持ってしっかりと挨拶が出来ました。「補習校で学ぶことが出来て良かったです。友達と楽しく過ごせました」「マイアミ補習校のことは、忘れません」「お世話になりました」「ありがとうございました」と心を込めたお別れの挨拶が続きました。座っている子どもたちも、じっと話を聞いていました。一緒に勉強し、遊んだ友達と会えなくなる寂しさは、互いに共通します。私も授業時の様子や行事の中の活躍がふと思い出され、「新しい土地でも、今までどおり元気でがんばってほしい」と思いました。この後の「1分間スピーチ」の発表で、マイアミでの生活で自分は何を見つけたか、転校する女生徒(中3 橋本聖佳さん)の興味深いスピーチがありました。

私は、1年前、日本に住んでいた頃、毎日満員電車で揺られ、中間・期末テストに追われる日々から抜け出したいと思っていました。行ったこともないマイアミに住むことに憧れてもいたのですが、実際に住み始めると、英語は全く分からず、授業の内容やフィールドトリップなどの詳しい説明も理解できず、普段話している日本語が自分にとってどんなに大切か、改めて実感しました。言語以外の場面でも、ランチの時にピザやスナックばかり食べているのを見て、日本は健康に気を使っていることや廊下、教室でけんかをしているのを見て、日本は平和だと感じたことなどマイアミへ来て初めて分かった日本の良さは、たくさんありました。

今では、私もマイアミでの生活にずいぶん慣れ、友達も出来て、日本に帰るのはとてもさびしいですが、日本に帰ってもここで分かった日本の良さを忘れずに暮らしていきたいです。

引続き保護者朝礼でも、お別れの挨拶に立たれたご家族の皆様から、感謝の言葉が相次ぎました。アメリカへ行っての生活や教育に不安があったものの充実した生活を送ることが出来た思いや1週間に1度の補習校が大きな支えになったことなど、それぞれの方がご苦勞をされてきた中での言葉だけにありがたく、改めて、補習校の教育の大切さを感じた次第です。

緊急 来週 臨時総会の開催 (保護者朝礼後すぐ)

8月より、運営委員の急遽の交代に伴う選出案件につき、臨時総会を開催します。多数のご出席を。ご欠席の場合は委任状の提出をお願いします。 マイアミ補習校代表会長 桑野康介